

九条の会

秋葉区「九条の会」事務局

新津教育会館内

新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692

<http://www7a.biglobe.ne.jp>[/~hiro-line/nk9jo/index.htm](http://~hiro-line/nk9jo/index.htm)

秋葉区「九条の会」

第7回 呼びかけ人・事務局合同会議開く！

12月13日(土) 第7回呼びかけ人・事務局合同会議が開催されました。参加者12名。開会のあいさつの後、事務局から活動の経過報告、参加者の星真人さんから第3回全国交流集会の報告がありました(裏面に掲載)。最後に事務局から「結成3周年のつどい」として経済同友会終身幹事・品川正治さんを迎えての講演会の実施(下記に掲載)とその成功を期して会員を中心に協力券(500円)の普及活動などについて提案がありました。出席者からは、「つどい」成功のために、協力券普及、各団体・会への案内、宣伝活動、など積極的な意見・発言がありました。

秋葉区「九条の会」の活動についての感想・意見・提言など活発な発言があり、有意義な会合になりました。主な発言は、「蒲原新聞に意見広告を出すのはどうか?」「九条を守る阿賀野の会では大きな看板を建てる取り組みをしている」「同級会で思いきって九条について話をしたら、何人からも共感を得た。周りの人と九条について話をする大切さを知った」「会に入れないが“九条を守りたい”という人もいる。いろんなところで訴えていくことも大事」「近隣の九条の会との交流会をやったらどうか」「賛同署名に取り組んだらどうか」「下越病院に九条の会があるが、職場や地域に小さな会が沢山できることが大切だ」また、「目標を持って会員の拡大に取り組み、当面3月の“つどい”までに300人にする取り組みをしたらどうか」との具体的な提案があり、事務局で具体化することが確認されました。

『憲法9条を守り、生かす』過半数の世論形成をめざして、ひとりでも多くの方々に財界・経済界の重鎮・品川正治さんの講演を聞いていただきたいと考えています。後日、事務局がお願いにまわります。ご協力をお願いします。

「秋葉区九条の会」結成3周年のつどい
とき 3月15日(日) 会場 健康センター

協力券(500円)へのご協力をお願いします

記念講演 戦争、人間、そして憲法9条
講師 品川正治(しながわまさじ)さん

略歴

1924年 兵庫県神戸市生まれ(84歳)。1944年 徴兵で中国戦線へ。
東京大学法学部卒。
日本興亜損保(旧日本火災)の社長、会長
経済同友会副代表幹事、専務理事を歴任
現在、国際開発センター会長、経済同友会終身幹事

主な著書

『戦争のほんとうの怖さを知る財界人の直言』(新日本出版社)
『これからの日本の座標軸』(同前)
『9条がつくる脱アメリカ型国家 財界リーダーの提言』(青灯社)



憲法を守れば世界が変わる

九条の会 第3回全国交流集会参加報告

星 真人(北上町)

去る11月24日(日)上記の会が東京にある日本教育会館で開かれ、参加してきました。そこでの様子を簡単に報告します。

開会の挨拶で小森事務局長は「一連の首相辞任問題や航空自衛隊のイラク派遣は違憲とする名古屋高裁判決は我々の運動の成果の反映である。しかし、ここで手をゆるめず、更に発展させれば改憲阻止の展望は開ける」といった意味の発言をされていました。

次いで、呼びかけ人4氏の発言がありました。そのうち、奥平康弘、澤地久枝両氏が例の田母神問題に触れ、奥平氏は「いつの間にか私達の心にふきこまれてしまうのが狙いなのであまり騒ぎ立てない方がよい」、それを受け継ぐ形で澤地氏が「クーデターを起こすかも知れないような人物をなぜ懲戒免職にしないのか」としたうえで「結局、我々が変わらなければ世の中は変わらない。運動をもっともっと飛躍的に発展させる必要がある」と発言されていたのが印象的でした。

更に谷山博史氏(日本国際ボランティアセンター代表理事)の特別講演がありました。氏はアフガンでのNGOの活動を詳細に報告し、そこからの教訓として、結局、戦争では何も解決しない、「対話」がキーワードであると強調されていました。また、アフガンには自衛隊を派遣していないため、大きな信頼を勝ち得ていたが、これはまさに日本国憲法のおかげであるとも強調されていました。

この後は分散会、分科会でしたがそこでは全国から創意、工夫があるいろんな取り組みが報告されました。その中から印象に残ったものをいくつか掲げておきます。

- * 宮城県では首長九条の会(元首長も含む)の立ち上げ。やがて全国に・・・
- * 教育、子育て九条の会の立ち上げ。子育てに携わっている人なら誰でも入れる組織として作った。全国で展開したいので呼びかけて欲しい。
- * 全国の多彩な取り組みから
 - ・ 毎月9日署名、毎月19日学習会。憲法知らない人、「九条って何?」という人、高齢者等と話が弾み、署名が広まる。
 - ・ 室蘭工大九条の会では地方紙に大広告、大反響があった。学生が約50名組織されている、それが地域に励みになっている。
 - ・ ポスターを肩にかけ駅頭宣伝をしている。戦時(千字)報告(体験談)。
 - ・ 署名人数を書いた大看板をあちこちに掲げる。保守系の議員が驚嘆

その他全国各地から実に様々な取り組みが紹介され、新たな運動の高まりが感じられました。その中から見てきた教訓は 継続的である 特定の人たちの運動にしない 楽しい運動である 巷に見える運動にする その地域や職場の特性に合わせた運動にするといったものでした。

平和のメッセージ

秋葉区のすみずみまで響かそう、
皆でつなく、平和のメッセージを!

「日本政府はなぜアメリカのいいなりになるのか?」

横山 潔(美幸町)

アメリカ軍は、2011年にイラクからの撤退をきめました。しかし日本ではそれが出来ません。最近読んだ「昭和天皇・マッカーサー会見」(関西大教授、豊下楯彦著。岩波現代文庫、08年刊)で、この疑問が解けたように思います。田母神問題を考える上でも重要と考えましたので、以下この本から学び考えたことを記します。

憲法9条と対立する安保体制が作られたのは、日本政府を飛び越えて、昭和天皇が独自外交を行った(=違憲行為)結果であることがわかりました。昭和天皇の呪縛に今なおがんじがらめになり、歴代日本政府がアメリカにペコペコしていることは、本当に腹立たしい限りです。アメリカ軍の撤退はダメと昭和天皇に言われ、それを歴代政府は必死に守ってきたということになります。本当なのだろうかと思いましたが、著者の研究には説得力があります。今日の日本の不幸の種は、昭和天皇がまたたきと考へざるを得ません。異論があるかもしれませんが、9条を守る運動が、安保体制を打ち破る運動に発展していければよいと思います。米軍基地を廃止しようとする中南米諸国の運動にも学んでいきたいと思ひます。(詳細は次号に掲載)